



神室発電所が完成 水源を活かした再生エネルギーを

10月28日、県企業局が神室ダム直下で整備を進めてきた「神室発電所」の完成記念式典が行われました。ダム式の小水力発電施設である神室発電所。約40mの高低差を利用して発電用の水車を回転させる仕組みです。この日、吉村県知事をはじめ関係者の皆さんが施設内を見学し、運転開始を祝いました。金山町においても、環境に優しい再生可能エネルギー利用拡大が期待されます。

最上川さくら回廊事業 入有屋地区公園で20本の桜を植樹

10月28日、入有屋地区公園を会場に、山形新聞・山形放送の8大事業「最上川さくら回廊」の植樹式が開催されました。有屋小学校の児童をはじめ、地域の方々およそ100名が参加し、オオヤマザクラ20本を植樹しました。この桜は来春にも小さな花を咲かせ、数年後には大空いっぱいに咲き誇るとのこと。きっと多くの人で賑わう地域の憩いの場となることでしょう。



▼1_岸三郎兵衛さんによる事例発表▼2_才本講師からは交付金を上手に活用した「農泊」のススメが▼3_町内外から集まった約50名の来場者▼4~5_第2日目には町内中心部を散策

第8回金山杉サミット 景観づくりに想いを巡らす

11月11~12日、第8回金山杉サミットが開催され、町内外から建築関係者など約50名が集まりました。事例報告では岸三郎兵衛さんが9月に実施された「いちやま岸家の木小屋・桶枯場」の杉皮屋根葺き替えについて発表。「130名余りのボランティアの皆さんと共に作り上げた。金山町の美しい景観は町民一人ひとりの理解と協力が必要」と強調されていました。続けて講演では、300軒以上の古民家再生に携わってきた(株)才本建築事務所の才本謙二さんが歴史的資源を守り、育てていくことの重要性を説かれました。金山町に点在する古き良き建造物の活用方法について考える良いきっかけとなりました。



大学環ネットかねやまフォーラム2017 金山の地域力で課題解決を

11月19日、大学環ネットフォーラム2017が開催され、横浜国立大学・東京工業大学・宇都宮大学・金沢大学が、今年度金山町内で行った研究調査を発表しました。町づくりアドバイザーの蜂屋大八金沢大准教授からは「調査で金山の良さ、暮らしの価値を再発見できた。これらを観光に結びつけることが大事。金山の地域力で様々な課題は解決できる」と助言をいただきました。

めぐたま園児たちが除雪学習会 操作体験を通し危険性学ぶ

11月7日、金山防災除雪ステーションを会場に、認定こども園めぐたまの年長園児を対象とした除雪学習会が開催されました。冬期間の交通災害撲滅を目的に新庄国道維持出張所が企画したものです。この日は、町内の国道除雪を請け負う白岩土木建築(株)が各除雪車の操作方法などを指導。園児たちは除雪車の運転席に座り、死角を確認しながら、危険性について学んでいました。



自然の厳しさを乗り越え J A金山で収穫感謝祭

11月9日、金山農業協同組合の収穫感謝祭が開催されました。式典では柴田組合長が「天候不順や日照不足など、自然の厳しさを実感した年だった」とご挨拶。今年はやや遅れての開催となりましたが、所狭しと新米が積まれる会場を見ると、関係者は安堵の表情を浮かべていました。式典後には認定こども園めぐたまの園児たちがついた餅が、多くの来場者にふるまわれました。

10年目も大盛況 秋の恵みで賑わう「秋のかねやま展」

11月1~2日、山形銀行本店を会場に、秋のかねやま展が開催されました。今年で記念すべき10回目。ロビーでは金山住宅模型展示のほか、初の試みとしてVR(バーチャルリアリティ)による街並み散策体験を実施しました。物販では、なめこや大根など秋の恵みが大人気。年を追うごとに来場者が増えている秋のかねやま展。来年もより多くの人で賑わうことを期待します。

